

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3178309号
(U3178309)

(45) 発行日 平成24年9月13日(2012.9.13)

(24) 登録日 平成24年8月22日(2012.8.22)

(51) Int.Cl. F 1
A 6 1 F 5/453 (2006.01) A 6 1 F 5/453
A 6 1 F 6/04 (2006.01) A 6 1 F 5/43

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2012-3083 (U2012-3083)
 (22) 出願日 平成24年5月7日(2012.5.7)

(73) 実用新案権者 312000343
 戸田 仁
 大分県中津市金谷本町2310番地 田口
 茂臣様方
 (72) 考案者 戸田 仁
 大分県中津市金谷本町2310番地 田口
 茂臣様方

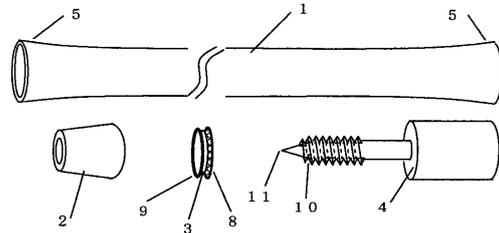
(54) 【考案の名称】 コンドームを蓄尿バッグの導尿管に繋ぐための連結管セット

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 使用操作が容易で安価な男性用尿取り手段を形成する為、コンドームを利用して蓄尿バッグの導尿管に繋ぐための連結管セットを提供する。

【解決手段】 連結管セットは、連結管1、コンドームと連結管を固着するための栓子2、コンドームの吸引巻き込みを防止するための網付きボタン3ならびに固着用栓子2を操作し、コンドームの先端に穴をあけるためのドリル4により形成する。連結管1は弾力性のある素材で造り、その両端はそれぞれコンドームおよび蓄尿バッグの導尿管に接続するためにラッパ状に広がっている。コンドームと連結管とを接続するための固着用栓子は弾力性に乏しい素材で造る。その内腔面には操作用のドリル4を受け入れるメネジと、網付きボタン3の脱落を防止するための突起9を受ける溝が切られている。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

1 連結管、 2 コンドームと連結管を接続するための固着用栓子、 3 コンドームの固着用栓子内への吸引巻き込みを防止するための網付きボタン、ならびに、 4 固着用栓子を操作し、コンドームの先端に穴をあけるためのドリルからなる一組み

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は男性の排尿を、避妊用コンドームを用いて蓄尿あるいは排尿バッグに導くための工夫に関するものである。

10

【背景技術】

【0002】

医療ならびに介護の現場において尿道留置カテーテルを使用する機会は多いが、その問題点として、 1 長期間の留置により尿路感染が誘発され易いこと、 2 高齢男性においては前立腺肥大のため尿道狭窄があることが多く、カテーテルの挿入が困難なことがあること、また、 3 たとえカテーテルを挿入出来ても、尿道粘膜を損傷したり炎症を起こして尿道の狭窄を更に悪化させることが多いことなどが挙げられる。

【0003】

これに対し男性の場合、コンドームタイプの導尿法では尿道留置カテーテルを用いる場合に比べて尿路感染誘発の頻度が低いことが知られている。また、尿道に異物を挿入しないため、尿道の狭窄を悪化させる恐れはなく、その装着・使用にあたって特別な技能を要さない利点などがある。

20

【0004】

蓄尿バッグの導尿管に接続するためのコネクタと一体になったコンドーム型の男性用尿取り器は既に市販されている。欧米ではその使用が広まりつつあると聞くが、本邦ではその存在さえ未だ広く知られていない現状である。流通数が少ないためか、その価格は一般のコンドームに比べて十数倍の高値であり、紙オムツや尿パッドを日常に使用する場合と比べても割高になる。

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

30

【0005】

不快な障害が少なく使用操作が容易で安価な男性用尿取り手段を提供する。

【課題を解決するための手段】

【0006】

汎用されている避妊用コンドームを採尿器として使用する。連結管を用いてコンドームと蓄尿バッグの導尿管とを繋ぐ。コンドームと連結管との接続方法を容易かつ確実に、コンドームの先端に適切な大きさの穴を容易に開けることが出来るようにすることによって課題を解決することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【0007】

40

【図 1】コンドームと蓄尿バッグの導尿管を繋ぐための連結管セット

【図 2】各パーツの内面構造を示す断面図

【図 3】連結管、固着用栓子ならびにドリルの使用法を示す図

【図 4】連結管とコンドームとの固着状態と、網付きボタンの使用法を示す図

【図 5】連結管に固着されたコンドームをペニスに装着した状況を示す図

【考案を実施するための形態】

【0008】

図 1 に本考案の構成パーツである 1 連結管、 2 コンドームと連結管を固着するための栓子、 3 コンドームの吸引巻き込みを防止するための網付きボタンならびに 4 固着用栓子を操作し、コンドームの先端に穴をあけるためのドリルを示す。

50

連結管は弾力性のある素材で造り、その両端はそれぞれコンドームおよび蓄尿バッグの導尿管に接続するためにラッパ状に広がっている。

コンドームと連結管とを接続するための固着用栓子は弾力性に乏しい素材で造る。図2に示すように、その内腔面には操作用のドリルを受け入れるメネジと、網付きボタンの脱落を防止するための突起を受ける溝が切られている。

【実施例】

【0009】

本考案ではコンドーム中に排泄された尿は連結管を通して蓄尿バッグの導尿管に流入する。蓄尿バッグを大腿部に置く場合には特に問題はないが、足元やベッド脇の低い位置に置く場合には次のような問題が生じる。すなわち、長い導尿管に流入した尿は経時的に蓄尿バッグに流れ込む速度が増す反面、尿道からの排尿速度は減じるため、導尿管方向に向かっての陰圧がコンドーム内に生じることになる。この陰圧によって固着用栓子の孔に周囲のコンドームの膜が吸い込まれ、塊状になって尿の流れを止めてしまう。これを防止するためには、固着用栓子の孔の入口に網付きのボタンを付けることが必要となる。

10

【0010】

図3に示すように、操作用ドリルはその錐状の刃先が固着用栓子の先端から突き出ない位置に止める。この状態でコンドームの精液溜りに内面から当てて連結管に押し込むと、コンドームは連結管に固着される。その状態でドリルを回して錐状の刃先をさらに進めると、強く張られたコンドームの先端の膜はパチッと音をたてて穿破される。その穿破孔の周囲のコンドームは連結管と固着用栓子に密着して挟まれているため、穿破された膜の亀裂がそれ以上に広がることはない。

20

【0011】

図4に示すように、ドリルを逆向きに回して固着用栓子から抜き去った後に、コンドームの巻き込み防止用の網付きボタンを固着用栓子に嵌める。

【0012】

図5は実際にコンドームをペニスに装着した状態を示す。それ自体が形状を保つハードタイプあるいはセミハードタイプのコンドーム型の採尿器と異なり、それ自体では形状を保たない膜状の避妊用コンドームはペニスとの密着性がよく、装着したコンドームの根元部から捲れてこない限りペニスから容易には抜け落ちることにはない利点がある。そのため、コンドームの固定には、捲れ難い幅と硬さのある粘着テープを根元部に巻くだけでよく、全周性に強く巻き締めたりする必要はない。

30

なお、コンドームの装着にあたって、ペニスの先から固着用栓子までの間に十分な距離があった方が、排尿速度が最も速い時点での尿をも受け容れるスペースとなり、逆流による尿漏れを防ぐことになる。

【産業上の利用可能性】

【0013】

本考案の連結管セットを実際に製造するにあたっては、高度な技術や特殊な材質を必要としない。本セットは再使用が可能である。交換が必要な男性用避妊コンドームは汎用されており、比較的安価に入手できる。本考案は尿パッド等の使用と比べても利便性が高く経済的であるため、産業上の利用の可能性は高いと考えられる。

40

【符号の説明】

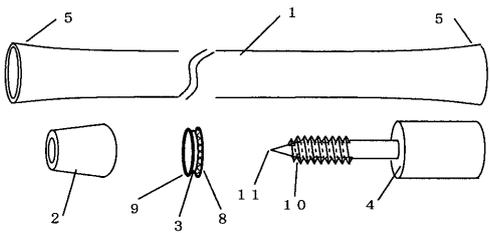
【0014】

- 1 連結管本体
- 2 コンドームを連結管に接続するための固着用栓子
- 3 コンドームの吸引巻き込みを防止するための網付きボタン
- 4 固着用栓子进行操作し、コンドームの先端に穴をあけるためのドリル
- 5 連結管の両端にあるコンドームならびに蓄尿バッグの導尿管との接続部分
- 6 固着用栓子の内腔面に切られたメネジ部分
- 7 固着用栓子の内腔面に切られた、網付きボタンの脱落防止用の突起を受ける溝部分
- 8 網付きボタンの網部分

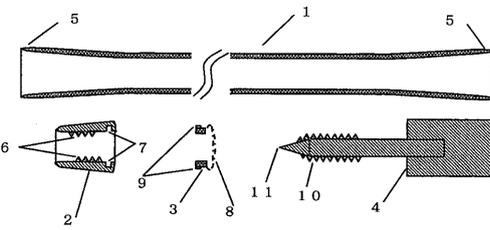
50

- 9 網付きボタンの脱落防止用の突起部分
- 10 ドリルに切られたオネジ部分
- 11 ドリル先端の錐状の刃先部分
- 12 汎用されている男性用避妊コンドーム
- 13 コンドームの精液溜り部分
- 14 コンドームの捲れ、脱落を防止するテープ

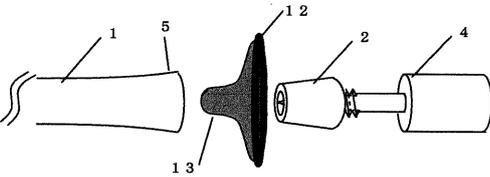
【図1】



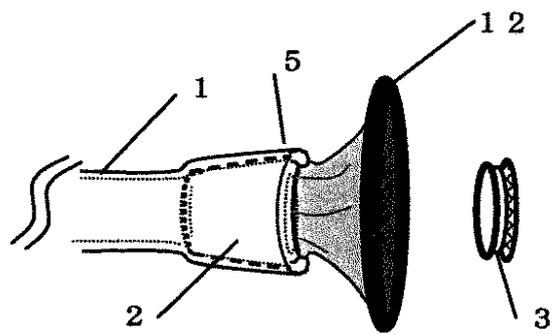
【図2】



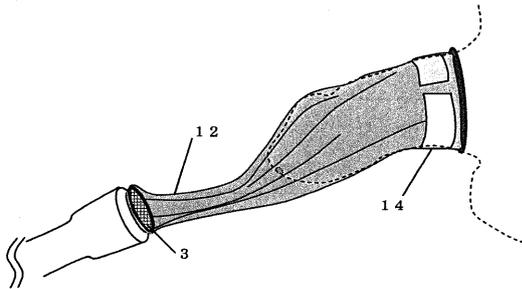
【図3】



【図4】



【図5】



【手続補正書】

【提出日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

1 連結管、 2 コンドームと連結管を接続するための固着用栓子、 3 コンドームの固着用栓子内への吸引巻き込みを防止するための網付きボタン、ならびに、 4 固着用栓子を操作し、コンドームの先端に穴をあけるためのドリルからなる、コンドームを蓄尿バッグの導尿管に繋ぐための連結管セット